

病気はまず予防から。 常に患者の目線に立ち地域に貢献する専門医

循環器、呼吸器、睡眠時無呼吸、生活習慣病(高血圧、高脂血症、糖尿病)を専門とするほか、内科専門医も有しており、一般内科、アレルギー、消化器などの診療も可能。幅広い治療で地域の医療をサポート。

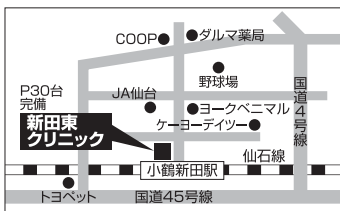
院長・医学博士 王 文輝

プロフィール

王 文輝 1993年東北大学医学部卒業。1993年秋田県横手市平鹿総合病院勤務。1996年東北大学循環器内科入局。1999年 アメリカ テネシー州Vanderbilt大学留学。2001年東北大学循環器内科。2002年 東北大学医学博士。2004年仙台オーブン病院勤務。2007年3月 新田東クリニック開院。取得専門医 日本内科学会認定内科専門医・日本循環器病学会認定循環器専門医・日本医師会認定産業医所属学会 日本内科学会、日本循環器学会、日本動脈硬化学会、日本超音波医学会、日本心工口一図学会、日本睡眠学会、日本心療内科学会

JR仙石線小鶴新田駅から徒歩1分。今年3月に開業した「新田東クリニック」。院内の待合室は天井が高い吹き抜け。緑や花も多くゆつたりとしたフアーム用意され、心地いい空間になっています。また、医療設備も整い、様々な症状を適切に判断できるクリニックです。王院長は東北大学医学部卒業後14年間、一般内科医、循環器内科医として診療と研究に携わってきた経験豊かな医師。とりわけ専門として虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)の多くの患者の治療を続けてきました。「医療技術の進歩により優れた治療が開発されているにもかかわらず、狭心症、心筋梗塞および脳卒中は近年増加傾向にあり、生命にかかわることも少なくない怖い病気です。原因の多くは動脈硬化で、これは最近メタボリック症候群として注目される肥満、高脂血症、高血圧、高血糖のほか、喫煙、ストレスなどが危険因子です」と王院長。長年の経験から病気を未然に防ぐことの重要性を痛感、病気の予防のための指導にも力を入れています。予防のためには軽症のうちに発見し、生活習慣の改善や適切

な治療が大切です。またメタボリック症候群と密接なつながりがあり、近年注目されている「睡眠時無呼吸症候群」の治療も専門としています。「会議中やテレビを見ている時の居眠り、運転中の眠気いびきは睡眠時無呼吸症候群の疑いがあります。睡眠時呼吸障害を適切な治療をせずに放置しておく、高血圧や心筋梗塞、脳卒中などの重篤な病気を引き起こす原因にもなります。気になる方はぜひ専門医の診断を受けてください」と王院長。循環器科・内科・呼吸器科・消化器科と様々な病気について気軽に相談できる頼れるクリニックです。



循環器科・内科・呼吸器科・消化器科
新田東クリニック

住所/仙台市宮城野区新田東 2-10-4

TEL/022-797-6700

J R: 仙石線小鶴新田駅 徒歩1分

バス: 小鶴新田駅、徒歩約1分

車: 仙台駅方面から国道45号線の出2丁目交差点左折後、3分

診察時間/月～土曜9:00～12:30 午後14:30～18:00

休診/日曜・祝日、木曜、土曜は午後休診

http://www.secl.jp/index.html

診察内容/生活習慣病外来、睡眠時無呼吸外来、ペーメーカークリニック、禁煙外来、ED外来、各種健康診断、心血管ドック、予防接種、セカンドオピニオン、健康相談を実施しております。お気軽にご相談下さい。

お役立ち健康ひとくちメモ

「いびきや」眠気が気になったら「睡眠時無呼吸症候群」の疑いが

目頃他の人に比べて眠気が強いと感じたり、「いびき」や「無呼吸」を指摘されたら「睡眠時呼吸障害」かもしれません。睡眠時に異常な呼吸が現れ、身体に様々な障害を及ぼす病気です。睡眠時呼吸障害を適切な治療をせずに放置しておく、高血圧や心筋梗塞、脳卒中、心不全などの重篤な病気を引き起こすことが知られています。睡眠時呼吸障害の確定診断には「ポリソムノグラフィ」と呼ばれる検査が必要です。この検査は、睡眠時呼吸障害を取り扱っている病院で行うことができます。治療には様々な方法があり、適切な治療さえ行えば、正常な睡眠をとることが可能になります。早期発見、予防をして健康で快適な睡眠生活を送りましょう。

取材協力

新田東クリニック 王 文輝院長